

校長室からのお知らせ

9月25日 NO.21

岸和田市立山直北小学校
校長 尾野武志

遊ぶ時間

子どもたちの時間を考えた人がいるそうです。一日は24時間です。そのうちの8時間は睡眠とします。登下校を含めると学校のために8時間程度は使います。朝ごはんや晩ごはん、お風呂や洗面などに費やす時間は4時間程度、宿題や明日の準備などでも1時間は必要となると、子どもの本当に自由な時間は3時間程度しかないという結果になったそうです。習い事があったりお手伝いをしたりしていると、もっと自由時間は減るようです。子どもの自由時間は、本当に貴重だと改めて感じました。

では、その貴重な自由時間を一体どのように使っているのでしょうか。ある調査では、1位は「ゲームをしたりスマホを使ったりして過ごす」で、2位は「家族と一緒に過ごす」で、3位は「本や漫画を読んだり、絵を描いたりする」で、4位は「友だちと遊ぶ」で、5位は「宿題以外の勉強をする」になっていました。1位が「ゲームやスマホ」というのは仕方ないような気もしましたが、「友だちと遊ぶ」が4位であったのは、意外で少し残念な気になりました。私の子どもころに比べると、今の子どもたちは結構忙しくて、気苦労も多く、遊ぶ場所も少なく、安心して安全に遊ぶということがとても難しくなっているかもしれません。

また、子どもが少なくなってきたのも原因の一つになっているような気がします。今から50年位前の私が小学生の頃は、学校には同級生の友だちがいて、自宅には近所の上級生や下級生がいて、日によって待ち合わせをして同級生と遊んだり、近所の子と遊んだりと家にいる暇がなかったように思います。また、家に居てると邪魔者扱いをされて母親から「どっか行っといで」と追い出されることも度々ありましたが、外に行けば誰かがいて気を使うことなく遊びに参加させてもらい、楽しく過ごすことができていたと思います。

考えてみますと、習い事をしている子は本当に少なく、熱中症の心配どころか熱中症という言葉もなく、広場や空き地も多く、子どもが遊ぶのにはとても恵まれていた環境だったような気がします。